

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 3 月 5 日 (2020.3.5)

【公開番号】特開 2020-747 (P2020-747A)
 【公開日】令和 2 年 1 月 9 日 (2020.1.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-001
 【出願番号】特願 2018-125569 (P2018-125569)
 【国際特許分類】

A 6 1 F 13/533 (2006.01)

A 6 1 F 13/53 (2006.01)

A 6 1 F 13/539 (2006.01)

A 6 1 F 13/42 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/533 1 0 0

A 6 1 F 13/53 1 0 0

A 6 1 F 13/539

A 6 1 F 13/42 B

【手続補正書】
 【提出日】令和 2 年 1 月 21 日 (2020.1.21)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0050
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0050】

吸収性物品 10 は、吸収体 40 を圧搾した圧搾部 80 を有する。圧搾部 80 は、吸収コア 40 a とコアラップ 40 b とに形成されている。圧搾部 80 は、吸収体 40 の肌面側に形成された肌面側圧搾部 80 a と、吸収体 40 の非肌面側に形成された非肌面側圧搾部 80 b と、を含んでいてよい。肌面側圧搾部 80 a は、吸収体 40 の肌面側から非肌面側に向かって厚み方向に凹んだ部分である。非肌面側圧搾部 80 b は、吸収体 40 の非肌面側から肌面側に向かって厚み方向に凹んだ部分である。ここで、肌面側圧搾部 80 a は、吸収体 40 の厚み方向 T において非肌面側圧搾部 80 b と重なる位置に設けられている。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0060
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0060】

吸収コア 40 a の肌面側の接着剤の秤量 30 a は、吸収コア 40 a の非肌面側の接着剤の秤量よりも小さいことが好ましい。肌面側のコアラップ 40 b に付着し得る接着剤の秤量が小さいため、肌面側のコアラップ 40 b が吸収コア 40 a に対して非接合になりやすく、また肌面側において吸収体 40 が硬くなりにくい。したがって、吸収体 40 の肌触りをより改善することができる。一方で、非肌面側のコアラップ 40 b と吸収コア 40 a は、大きい秤量の接着剤 30 b でしっかりと接合されるため、吸収体 40 の保型性が維持されやすい。なお、接着剤の坪量は、吸収コア 40 a 又はコアラップ 40 b の所定面積に塗布される接着剤の塗布量（質量）を、当該所定面積で除算することによって算出される。例えば、接着剤の坪量は、吸収コア 40 a 又はコアラップ 40 b 全体に塗布された接着剤の全重量を、当該吸収コア 40 a 又はコアラップ 40 b の面積で割った値によって規定し

てもよい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0064

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0064】

吸収体 40 の、格子状の圧搾部 80 により囲まれたセル 46 において、セル 46 の最大長に対する吸収コア 40 a の最大厚みの比は、0.09 以上であることが好ましい。セル 46 の最大長に対する吸収コア 40 a の最大厚みの比が大きければ大きいほど、セル 46 のサイズに対する吸収コア 40 a の膨らみが大きいことを意味する。当該比が 0.09 以上であることによって、格子状の圧搾部 80 がしっかりと形成され、吸収体 40 の保型性が維持されやすくなる。なお、吸収コア 40 a の厚みは、例えば吸収体を液体窒素で固めた状態で吸収体を裁断機で切断し、吸収体の切断された断面を電子顕微鏡で観測することによって測定することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0066

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0066】

以下の表 1 は、圧搾部 80 によって区画されたセル 46 の大きさと、非肌面側圧搾部 80 b のところでのコアラップ 40 b と吸収コア 40 a の接合性の測定結果を示している。表 1 に記載の実施例 1～5 は、圧搾部 80 によって形成されるセル 46 のサイズ及び厚みが異なっている。実施例 1～5 において、セル 46 の幅方向の最大長 W1 と、セル 46 の最大厚み T1 が、表 1 に示されている。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0067

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0067】

また、非肌面側圧搾部 80 b のところで、非肌面側のコアラップ 40 b と吸収コア 40 a の接合性を電子顕微鏡で確認した。非肌面側のコアラップ 40 b と吸収コア 40 a とが接合されている場合、接合性の評価は「○」によって示されている。一方、非肌面側のコアラップ 40 b と吸収コア 40 a との接合性が低下している場合、すなわち非接合領域が観測された場合、接合性の評価は「×」によって示されている。